

CONTENTS

- 文化人の本音 河合隼雄文化庁長官対談 第40回 ゲスト 米澤 傑さん●鹿児島大学医学部教授
 うまく歌えて、拍手、ブラーがくる、その一瞬が楽しみです4
 長官コラム 文化庁の抜穴9

いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート 40	
松本市立博物館(長野県)22	
芸術文化の風 4	
いってみよう! 演劇編(猪又宏治)23	
著作権Q & A 『著作権なるほど質問箱』から 4	
著作者にはどんな権利があるの? 財産的権利24	
文化交流使の活動報告 16	
アメリカでの能の紹介(河村晴久・能楽師)25	
伝建地区を見守る人々 伝建歳時記 16	
多様な表情のある懐かしいまち(千葉県佐原市)26	
史跡を楽しむ 4	
史跡 松代城跡 附 新御殿跡(長野市)28	
言葉をみつめる 4	
年齢と言葉29	
地域からの「文化力」発信 4	
延岡市「伝統文化こども教室」助成事業を活用しての 伝統文化保存団体の「活動基盤の整備」と「次世代の育成」30	
文化人in関西 関西元気文化圏で活躍する人々 4	
天満宮の拝殿がコンサート会場 矢本京子さん(京都府)32	
風を呼ぼう、わが町に 登録有形文化財建造物との歩み 16	
歴史を彩る蔵街道 地域の産業と文化財建造物33	
日本の伝統美と技を守る人々 選定保存技術保持者編 45	
中村勇三(墨製作)34	
国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法 文化財鑑賞の手引き 28	
火焰型土器35	
文化財をめぐるパートナーシップ2	
BankART 192936	
平成17年春の叙勲、褒章受章者38	
「第3回芸術系大学長と文化庁長官の懇談会」を開催39	
わたしの旅~日本の歴史と文化をたずねて~40	
東京国立博物館	
特別展 模写・模造と日本美術 うつす・まなぶ・つたえる41	
京都国立博物館	
特別展覧会 龍馬の翔けた時代 その生涯と激動の幕末42	
東京国立近代美術館 フィルムセンター	
発掘された映画たち200543	
奈良国立博物館	
親と子のギャラリー ほとけさまのお花一蓮44	
国立国際美術館	
企画展 転換期の作法	
ポーランド、チェコ、スロヴァキア、ハンガリーの現代美術44	

文化ニュース

イベント案内

今月の
表紙

重要文化財東照宮石鳥居
(栃木県日光市)

特集 文化財建造物の環境保全

文化庁提言

防災の新たな動きと環境保全

解説

文化財建造物の環境保全の取組

事例紹介

高良大社境内の地盤調査と地すべり対策

寄稿

日光二社一寺の文化財と樹木管理

重要文化財(建造物)耐震診断事業

施設紹介

今後の環境保全に向けて

参事官(建造物担当)付整備活用部門
矢野和之
田上 稔
高橋俊雄

新国立劇場スポットライト45
8月の国立劇場46
芸術文化振興基金ニュース47
題字デザイン 桑山弥三郎

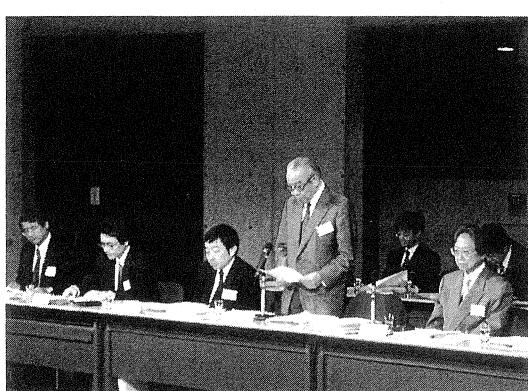
「第三回芸術系大学長と文化庁長官との懇談会」を開催

「第三回芸術系大学長と文化庁長官との懇談会」が、文化庁および京都市立芸術大学の共催により、五月一三日に京都市立芸術大学キャンパスで開催されました。

当日は、河合隼雄文化庁長官および中西進京都市立芸術大学長の挨拶に始まり、文化庁や文部科学省の取組について説明が行われるとともに、平成一六年度（第八回）文化庁メディア芸術祭における「日韓学生アニメ・コラボレーション」において、日本人学生および韓国人留学生のワークショップにより制作された「しりとりアニメ」が上映されました。

また、中村英昭エリザベト音楽

大学長および立石雅夫女子美術大学長より、地域貢献、国際交流、大学間連携などの取組についてご発表をいただきました。各大学長より、芸術系大学における連携の在り方や、文化行政が果たすべき役割などについて、活発な意見交換が行われました。その後、学生が制作した作品や音楽学部生による演奏の鑑賞とともに、キャンパス内にてレセプションが開催され、榎本頼兼京都市長らによる挨拶のほか、河合長官と京都市立芸



河合長官の挨拶



京都市立芸術大学の学生らと演奏する河合長官

大学の学生らによる演奏なども行われました。

文化庁におきましては、今後ともさまざまな形で意見交換会や施策説明会などを開催することとしております。

◆長官対談◆

【文化人の本音】 河合隼雄文化庁長官対談

柳生 博 日本野鳥の会会長

【長官】ラム文化庁の抜穴】

◆連載◆

【いきいきミュージアム 美術館・博物館事業レポート】

愛媛県立美術館

【芸術文化の風】

【「メディア・アート」って何だろう?】

【著作権Q&A】『著作権なるほど質問箱から』

【歌手や俳優、レコード会社にはどんな権利があるの?】

【文化交流使の活動報告】

村井健・演劇評論家

【伝建地区を見守る人々 伝建歳時記】

選定一〇周年記念事業と千灯祭

【史跡を楽しむ】

広がる文化財保護の輪

【言葉をみつめる】

会話の進め方

【地域からの「文化力」発信】

【本物の舞台芸術体験事業】(公立文化施設公演)

【文化人(ぶんがびと)】関西 関西元気文化圏で活躍する人々】

【震災の地から文化力で復興を応援】

【風を呼ぼう、わが町に登録有形文化財建造物との歩み】

【地場産業振興を支えた文化財建造物 新たな未来に向けて】

【日本の伝統美と技を守る人々】

宮内庁式部職染部・雅楽

【国宝・重要文化財をもっと楽しむ方法】

【文化財保存科学のおはなし】

【日韓友情年事業紹介】

【友情年も中盤、熱の入った事業を展開】

体験事業開催地一覧 ほか

平成一七年度「言葉」について考える

平成一六年度度「国語に関する世論調査」の結果

◆特集◆
世論調査から見る国語意識【文化庁提言】
世論調査と国語施策

【座談会】

世論調査に見る現代の敬語意識

杉戸清樹・井田由美・松村由紀子

【資料】

平成一六年度度

【国語に関する世論調査】の結果

編集後記

文化財建造物の防災においては、毎年一月二六日の「文化財防火デー」に合わせて各地で防火演習を行うなど、火災についての定着した取組を有しています。一方で、環境保全については紹介される機会が少なかつたように思えます。文化財建造物の防災にかかる施設や設備は、文化財の価値に影響を及ぼさないよう、また、周辺の歴史的な景観を損なうことがないよう、細心の注意を払って設置されます。それゆえ、良さみながらの編集でした。(下間久美子)

い仕事ほど目立ちません。このようないい文化財建造物を支える技術や努力を、本特集で少しでもご紹介できればと考えました。二歳の息子が東映系スーパーイードに夢中ですが、七年程前に放映された救急戦隊ゴーゴーファイブでは「進め!防災たましい!」という歌が流されていました。「大地が揺れても、心揺らすな、落ち着いて察知、試されるjudge!」そんなくだりを口ずさみながらの編集でした。(下間久美子)

美術館・博物館チケットプレゼント

今月号の展覧会等のチケットプレゼントは、

A 京都国立博物館

「龍馬の翔けた時代」3組(ペア)

B 国立国際美術館

「転換期の作法」3組(ペア)

です。ご希望の方はアンケートハガキのチケット応募欄に必要事項をご記入のうえ、8月1日(月)までにご投函ください(当日消印有効)。

*チケット発送をもって当選発表にかえさせていただきます。

文化庁月報 7月号(通巻442)

平成17年7月25日印刷・発行

編集——文化庁

〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1

発行——株式会社 ぎょうせい

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-12

本部 〒167-8088 東京都杉並区荻窪4-30-16

電話 編集 03(3571)2126

販売 03(5349)6666

URL: http://www.gyosei.co.jp

印刷所——ぎょうせいデジタル株式会社

●本誌の掲載のうち、意見にわたる部分については、筆者個人の見解であることをお断りいたします。

定価540円 [本体514円] 送料76円

年間購読料6,480円

本誌のご購読のお申し込みは、直接弊社の本・支社、あるいは最寄りの書店へお申し込みください。

広告の問い合わせ・申し込み先

(株) ぎょうせい営業部広告課

電話03(5349)6657(ダイヤルイン)

©2005 Printed in Japan ISSN 0916-9849

本誌は本文用紙に再生紙を使用しております。

文化庁では、ホームページで、文化庁に関する情報を幅広く提供しています。ご意見、文化庁月報の感想などを、ホームページのご意見欄へお寄せください。

●ホームページアドレス●
<http://www.bunka.go.jp>